

# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '91 8月号

## キノコ展 みどころ・ききどころ



### ●キノコの標本はどうやって作る

特別展の会場には約200点のキノコの標本が展示されています。これらの標本は神奈川キノコの会のご協力で、この2年間の間に収集され、博物館に保存されているものです。

キノコの標本は、普通電気で乾燥して作ります。一度水分が抜けると、長期にわたって保存することができます。キノコにはかたいものとやわらかいものがありますが、もちろんかたいキノコの方が形や色がよく残ります。ですから標本は特にサルノコシカケ類などをじっくり見て下さい。

博物館には現在約450種類のキノコの標本がありますが、これは博物館としては全国でもベストテンに入る資料の数と思われます。



### ●冬虫夏草の不思議

キノコは普通死んだ動植物の遺体を分解して栄養にしていますが、ごく例外的に生きた動物に寄生する種類があります。それが冬虫夏草の名前で知られるバッカクキン科のキノコです。今回の展示では、クモタケ・セミタケ・ガヤドリナガミツブタケ・ツクツクボウシタケ・ミンミンゼミハリセンボン・サナギタケの6種類を紹介しました。見れば見るほど奇妙な冬虫夏草に注目して下さい。

### ●巨大なキノコ、ニオウシメジ

神奈川県で見つかるいちばん大きなキノコはニオウシメジです。昨年大和市で県内4回目の発見がされました。発見者の井上好幸さんがご好意で重さ40キロもあるキノコを博物館まで運んで来て下さいました。今回展示したのは、その一部を乾燥標本にしたものです。

数百本のキノコが重なり合ってついているようすは、本当にみごとなものです。しかもこのキノコはおいしく食べられるので、見つけた人は大喜びするようです。標本にと運んで下さった井上さんには感謝の言葉もありません。

### ●キノコグッズあれこれ

大磯町の曾根田正己先生にお借りして各国のキノコにちなんだ民芸品を約20点展示しました。同じ置物でも、イタリアは大理石でできている、メキシコはちょっと不気味な模様がついている、ドイツはオルゴールになっているなど、お国柄が現われていて楽しいものです。

別のケースには中米グアテマラのキノコ石のレプリカも展示しました。これは呪術的な意味のある石像のようです。

キノコとの親しみ方も民族によって大きく違うようです。

### ●講演会「キノコをつくる」

日時：8月4日（日）午後1時半～4時

会場：博物館講堂 入場自由

講師：七宮清先生

厚木市七沢にある神奈川県林業試験場では、キノコの栽培の普及に取り組んできました。ヤナギマツタケの栽培に成功するなど、大きな成果もあげてきました。七宮先生は長年試験場でその仕事にたずさわってこられた方で、今回の講演会では、キノコの栽培の面白さ、難しさを中心に、私たちの生活とキノコの関わりについてお話を頂きます。



### ●キノコ鑑定会

日時：9月1日（日）午前10時～午後3時

会場：博物館科学教室 入場自由

講師：城川四郎先生

名前の分からぬキノコを専門家に調べて頂く会です。庭木についているサルノコシカケなど、日頃名前を知りたいキノコのある方は、上記の時間内にそのキノコを持ってきて下さい。食べられるかどうかの相談にも答えて頂けます。

# ひとつの石器が語るふたつの謎

6月中旬、平塚市北金目にある東海大学校内の遺跡の調査について、各新聞で大きく報道されました。この内容についてご紹介しましょう。

**【話題の主役】** 王子ノ台遺跡として遺跡地に指定されているこの地区は、平塚の歴史を探る重要な遺跡として以前から注目されていました。現在、東海大学校地内遺跡調査団を中心となって調査を進めています。

今回多くの人々の関心を呼んでいるのは、長さ2cmほどの、黒曜石でできたハート形の石器で、石鏃（せきぞく）と呼ばれる、矢の先に付ける道具のようです。この石器は、2つの大きな情報を我々に提供してくれました。

ひとつは石器と、それを作る際の石のけずりくずが、今から約20,000年前の地層で発見されたということです。

もうひとつは、発見された黒曜石が十勝石（とかちいし）と言われる北海道産の黒曜石らしいということです。

これほど古い時代に、この石器を利用するような弓矢が使われていたのでしょうか？また、北海道から平塚まで長い旅をしてきた人々がいたのでしょうか？

**【弓矢の起源－これまでの説－】** 現在発見されている世界で最も古い弓は、デンマークで出土した約13,000年前のものだと言われています。北ヨーロッパのアーレンスブルグ文化の遺物の中には、矢柄（やがら→矢の本体）も見いだされます。日本では、愛媛県上黒岩陰遺跡で縄文時代草創期の遺物層から石鏃が出土しており、やはり12,000年前の物と考えられています。

この12,000～13,000年前という時代は、最後の氷河期－ヴュルム氷期－がピークをすぎて、地上の気温が上昇してくる時期です。世界中に森林地域が広がり、動物たちは広い森



◇調査中の王子ノ台遺跡◇

の中を自由に走りまわるようになりました。このような状況の中で、獲物を取る人間たちも苦労したことでしょう。そこで登場したのが弓矢だったと推定されているわけです。

**【黒曜石をめぐる交易】** 黒曜石はどこにでもあると言うものではありません。関東地方の周辺では、長野県内や箱根地方、それに伊豆諸島などに限られています。しかし、産地の近くに住む人々とそうでない人々との間には活発な交易があったらしく、黒曜石は、関東地方や中部地方の広い範囲の遺跡で発見されています。平塚市の五領ヶ台遺跡でも、神津島産の物を中心に各地の黒曜石が出土しています。ただし、いずれも本州に産出するものばかりで、人々の行動範囲や移動範囲も、関東地方と中部地方を合わせた程度の範囲が想定されていました。

**【今後の展開】** このように、「弓矢の起源」と「黒曜石をめぐる交易」という2つの重要なポイントを握る黒曜石の石器には、現在科学的な分析が加えられています。くわしい内容はその分析や研究の成果を待たなければなりません。

しかし、20,000年も前に遠く北海道からこの平塚を訪れた人々がいたとしたら、どんな生活をしていたのでしょうかね。

（協力：東海大学校地内遺跡調査団）

## 普及活動紹介

### その① 漂着物を拾う会

### その② 自由研究相談会

#### 《漂着物を拾う会》

今年度7回目(7/7)の漂着物を拾う会は、葉山一色海岸に出かけてみました。20名の参加がありました。海水浴客に紛れ、約一時間半思い思いに漂着物を拾い集めました。一色海岸は、岩場あり、砂浜ありで生物の種類や数も豊富で、興味深く観察ができました。

海岸での活動の後、「しおさい博物館」の見学をしました。観察した生物をすぐに、近くの博物館で確かめられたことが良かったようです。約650種類の標本が展示してありますが「現在では、海水の汚染が進み、これだけの種類をこれから集めようとしたら、十年はかかるかもしれません。いや、もう、無理かもしれませんね。」という館の学芸員の方のお話が印象的でした。

こちらの海岸に出かけた際には、見つかった生物の種類や名前をこの「しおさい博物館」で調べてみるとよいでしょう。



「今日は、たくさん収穫だ！」

#### 《自由研究相談会》

7月26日には、夏休み 一回目の自由研究相談会が開かれました。合計32人の小・中学生が相談に訪れました。

毎年の傾向ですが、自分のテーマがなかなか決まらず、困っている子ども達が多いようです。具体的ないいテーマが見つかればしめたもの。自由研究は、半ば成功したようなものかもしれません。

中学生の場合は、社会科や理科の宿題になっていることもあります。先生からの「自由研究の仕方」等のプリントを持ってきて真剣に相談をしていた生徒もいたようです。

#### 《学年別相談者数》

学年	小2	小3	小5	中1	中2	中3
人 数	1	1	3	12	6	9

2回目は、8/21(水)午後1時からです。初めての人も大歓迎です。



どの顔もいっしょけんめい  
「さあ、がんばって！」



## 《行事案内》

8月の行事予定			9月の行事予定		
1 木	みんなで調べよう 天体観察会（スター・ウォッチング）		1 日	特展関連行事「キノコ鑑定会」	
3 土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸 土曜観察会（新聞作り） 星を見る会（18:30～20:00）		7 土	ナチュラリスト講座	
4 日	特別展講演「キノコをつくる」		8 日	漂着物を拾う会（小田原） 石仏を調べる会	
6（火）と7（水）	教員対象野外研修講座		14 土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸 古文書講読会 土曜観察会	
7（水）8（木）	天体観察会（スター・ウォッチング）		21 土	平塚の空襲と戦災を記録する会 石仏を調べる会 相模川の生き立ちを探る会	
10 土	古文書講読会 石仏を調べる会 星を見る会（18:30～20:00）		28 土	古文書講読会 土曜観察会（新聞作り） 体験学習「星座早見を作ろう」	
13, 14の 両日	自然観察入門講座「化石調べ」 天体観察会「流星群の観測」		29 日	相模川を歩く会、相模原～座間	
15 木	自然観察会「エゾゼミの山」		7/20～9/1夏季特別展「湘南のきのこ」 7/20～9/1プラネタリウム「こと座物語」 9/7～11/2 '' '' 「星の一生」 9/10～ '' 学校団体投影期間 8/1～9/17寄贈品コーナー「教育資料展」		
16 金	自然観察入門講座「化石調べ」		■「星座早見を作ろう」		
17 土	平塚の空襲と戦災を記録する会 星を見る会（18:30～20:00）		自分の手作りの星座早見板を使い、星座の 学習をします。		
18 日	相模川の生き立ちを探る会、旭		日時：9月28日（土）午後3時～7時まで		
20 火	自然観察会「クモと柿田川」		場所：博物館科学教室		
21 水	夏休み自由研究相談会13:00～		申し込み：往復ハガキで9月20日まで。★		
23 金	体験学習「草木染め」		人数：20人		
24 土	古文書講読会 土曜観察会「コオモリ」 星を見る会（18:30～20:00）		持ち物：はさみ 筆記用具 軽食（必要な人）		
25 日	相模川を歩く会（まとめ）		費用：材料費200円（当日持参）★		
28 水	みんなで調べよう（まとめ）		■プラネタリウム「こと座物語」		
			投影期間：9月1日（日）まで		
			投影時刻：水木土日の各曜日 ★		
			午前11時と午後2時の2回		
			観覧券：100円		

「あなたと博物館」16巻5号通巻179号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 C 3000  
発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 電話33-5111